

経営比較分析表（令和元年度決算）

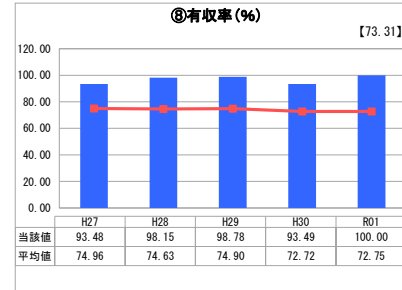
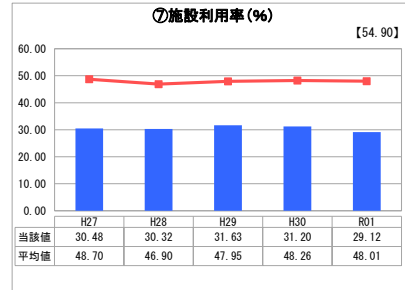
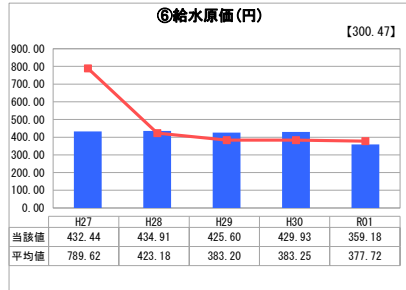
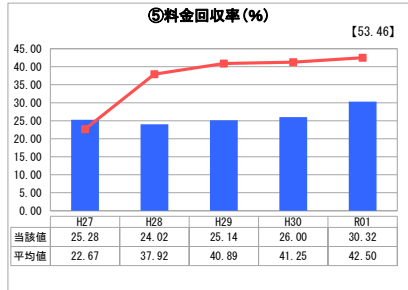
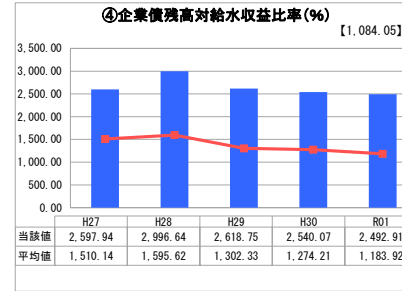
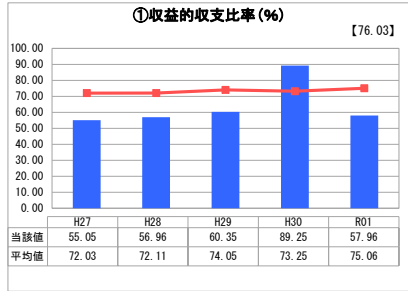
岡山県 新庄村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	95.51	1,910	

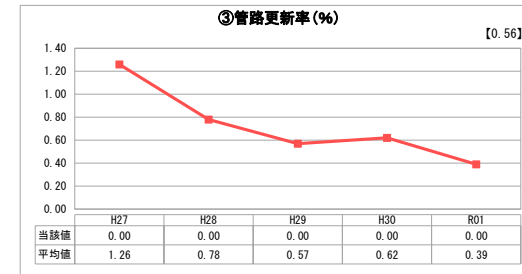
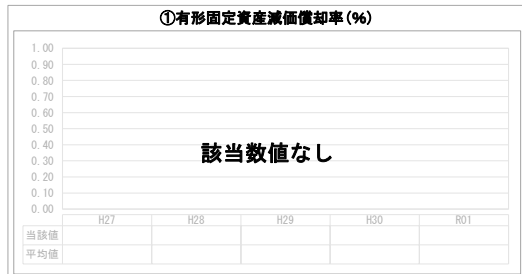
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
914	67.11	13.62
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
872	27.02	32.27

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新庄村簡易水道事業の経営状況は、赤字となっている。収益的収支比率は、H30年度に予定していた浄水場の取り壊しをH31年度に繰越したことにより、歳出が増え料金収入等は前年以前と変わっていない為、前年よりも約30パーセント下がっている。

企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比べると高い傾向となっている。これは簡易水道の統合事業等を行った為、水道事業の収益に対して企業債残高が高くなっているためである。今後も公営企業会計への移行もあり、起債を借りていかなければならない。料金回収率は高くなってきているが類似団体よりも低い水準となっている。給水に対する費用について、給水収入と一般会計からの繰入で賄っている。

給水原価は類似団体並となっているが、減少傾向にある。これは、給水に係る総費用が減少しているためである。料金回収率は類似団体を下回っており、経営の効率性は悪いと言える。また、施設利用率は、人口減少に伴い、配水量が減少していることから下がっていると考えられる。

新庄村簡易水道事業は、給水収益では賄えていない状況となっている。企業債の償還等もあり、一般会計からの繰入はやむを得ない状況であるが、今後も料金回収率の向上、料金改定の検討、経営の効率化を図る。

2. 老朽化の状況について

老朽化した管路が増えてきているため、計画的な更新をしていかなければならない。

全体総括

新庄村簡易水道事業の経営について、料金回収率の向上、料金改定の検討、経営の効率化を図り企業会計の健全化を進めていく。また、老朽化対策については、経営バランスを考慮し、更新を進めていく。